

平成30事業年度

決算報告書

自：平成30年4月 1日

至：平成31年3月31日

国立大学法人長崎大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	15,853	16,009	156	(注1)
施設整備費補助金	362	329	-33	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,905	1,147	-758	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	41	41	-	
自己収入	32,910	34,982	2,072	
授業料、入学料及び検定料収入	4,979	4,893	-86	(注4)
附属病院収入	26,876	29,417	2,541	(注5)
財産処分収入	54	54	-	
雑収入	1,001	618	-383	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,053	5,662	1,609	(注7)
引当金取崩	684	717	33	(注8)
長期借入金収入	1,062	1,062	-	
貸付回収金	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	132	169	37	(注9)
計	57,002	60,118	3,116	
支出				
業務費	47,239	47,622	383	
教育研究経費	20,096	19,964	-132	(注10)
診療経費	27,143	27,658	515	(注11)
施設整備費	1,465	1,432	-33	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,905	1,147	-758	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,053	4,510	457	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,340	2,329	-11	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	57,002	57,040	38	
収入-支出	-	3,078	3,078	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいなかった特殊要因経費の追加交付があったため、予算金額に比して決算金額が156百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、(坂本)総合研究棟改修Ⅱ(医歯薬学系)の事業費の一部が翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が33百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、医療研究開発推進事業費補助金等の一部が翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が758百万円少額となっております。

(注4)授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階との人数差異及び授業料免除枠の拡大等により、予算金額に比して決算金額が86百万円少額となっております。

(注5)附属病院収入については、手術件数及び高額注射薬剤の増加等により、予算金額に比して決算金額が2,541百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、予算段階で見込んでいた収入の減少により、予算金額に比して決算金額が383百万円少額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の受け入れ増加等により、予算金額に比して決算金額が1,609百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、賞与引当金対象者の増加等により、予算金額に比して決算金額が33百万円多額となっております。

(注9)前中期目標期間繰越積立金取崩については、高度急性期医療機能強化事業の事業計画変更等により、予算金額に比して決算金額37百万円多額となっております。

(注10)教育研究経費については、効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が132百万円少額となっております。

(注11)診療経費については、診療稼働の増加に伴う材料費及び医薬品費の増加等により、予算金額に比して決算金額が515百万円多額となっております。

(注12)施設整備費については、(注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が33百万円少額となっております。

(注13)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が758百万円少額となっております。

(注14)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が457百万円多額となっております。

(注15)長期借入金償還金については、利率が見直され支払利息が減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が11百万円少額となっております。